

第1回～第24回

☆放送時間☆

期間	曜日	時間帯
昭和49年4月17日～ 昭和49年9月25日	水	21時00分～ 21時56分

司会：高橋圭三、末広真樹子

レギュラー：坂上二郎

☆凡例☆

- | | |
|-------------|-------|
| ①サブタイトル・放送回 | ②出演者 |
| ③曲目（歌唱者） | ④放送概要 |

昭和49年4月17日

①「ひばり・進一心の歌」 # 1

②美空ひばり、森進一、水前寺清子、五木ひろし、天地真理、小柳ルミ子、野口五郎、森昌子

③「むらさきの涙」(美空)、「冬の旅」(森進一)

- ④ 歌謡曲がレコードで聞かれるようになってから約50年。美空ひばりからフィンガー5まで、現在歌謡界の第一線で活躍中の歌手を一堂に集め、昭和半世紀の間にヒットした曲を歌うスタジオ番組。司会は高橋圭三と末広真樹子。レギュラー出演の坂上二郎とコント0番地がコントを見せる。第一回のメイン・コーナーは、美空ひばりと森進一をゲストに、それぞれ「むらさきの涙」「冬の旅」を歌った後、二人に“演歌”について語ってもらう。曲はすべて視聴者からのリクエストで選ぶ。

昭和49年4月24日

①「チータ・五木の軍歌集」 # 2

②水前寺清子、五木ひろし、森進一、小柳ルミ子、フィンガー5、森昌子、八代亜紀、古関裕而

③「露営の歌」(水前寺)、「ラバウル海軍航空隊」(五木)、「暁に祈る」(不明)

- ④ 水前寺清子、五木ひろしをゲストに迎え、戦前・戦後に愛唱された“軍歌”を特集する。また特別ゲストの古関裕而が軍歌にまつわるエピソードを披露。

曲は、水前寺が「露営の歌」、五木が「ラバウル海軍航空隊」など。

坂上二郎の“歌謡博物館”コーナーでは、日本で一番古いといわれるハーモニカを紹介する。

昭和49年5月1日

①「裕次郎女ごころを歌う」 # 3

②石原裕次郎、水前寺清子、いしだあゆみ、五木ひろし、フィンガー5、欧陽菲菲、八代亜紀

③「再会」(石原)、「ワン・レイニー・ナイト・イン・トウキョー」(石原)、「いつか何処かで」(石原)、「二人の雨」(石原)、「銀座の恋の物語」(石原・八代)

- ④ メーンゲストの石原裕次郎が渋味のきいた低音でしつとりと“女ごころ”をテーマに歌う。曲は「再会」「ワン・レイニー・ナイト・イン・トウキョー」「いつか何処かで」「二人の雨」など、女ごころの歌謡特集。

また、八代亜紀と「銀座の恋の物語」をデュエットで歌う。

“坂上二郎の歌謡博物館”コーナーでは、日本で初めて主題歌ができたという映画「新東京行進曲」のポスターを、当時のエピソードを織りまぜながら紹介する。

昭和49年5月8日

①「三橋美智也・日本の哀愁」 # 4

②三橋美智也、五木ひろし、小柳ルミ子、布施明、藤圭子、ガロ、美川憲一

③不明

④不明

昭和49年5月15日

- ①「につぼんの心・島倉千代子」 #5
- ②島倉千代子、森進一、アグネス・チャン、五木ひろし、小柳ルミ子、ちあきなおみ
- ③不明
- ④不明

昭和49年5月22日

- ①「不死鳥・美空ひばり1000万人のリクエスト」 #6
- ②美空ひばり、小柳ルミ子、ぴんから兄弟、野口五郎、布施明、夏木マリ
- ③「悲しい酒」(美空)、「リンゴ追分」(美空)、「柔」(美空)
- ④「ベストスペシャル」コーナーでは、美空ひばりが登場、「悲しい酒」「リンゴ追分」「柔」などを歌い、電話でファンと”感激の対話”をする。
「歌謡博物館」コーナーでは、美空が映画「伊豆の踊子」に踊り子役で出演したのを記念して、監督野村芳太郎氏が彼女に贈ったという”つづみ”を紹介、当時のエピソードを語る。

昭和49年5月29日

- ①「吉田正自選ベスト5」 #7
- ②吉田正、フランク永井、橋幸夫、水前寺清子、森進一、美川憲一、三善英史、森昌子
- ③「妻を恋うる唄」(不明)、「恋をするなら」(不明)、「再会」(不明)
- ④作曲家の吉田正が自分の作品から選んだベスト五曲を、吉田学校の優等生フランク永井と橋幸夫が歌う。
曲は「妻を恋うる唄」「恋をするなら」「再会」など。
吉田が曲のできた当時のエピソードも披露する。

昭和49年6月5日

- ①「演歌道に生きた20年！春日八郎」 #8
- ②春日八郎、殿さまキングス、八代亜紀、森山良子、森進一、梓みちよ、宮城けんじ
- ③「赤いランプの終列車」(春日)、「お富さん」(春日)、「別れの一本杉」(春日)、「長崎の女」(春日)、「どしゃぶり人生」(春日)
- ④”圭三ベストスペシャル”にベテラン春日八郎を迎え、大の春日ファンという宮城けんじや一般ファンと、なつかしい思い出話やかくされたエピソードを話し合う。歌は「赤いランプの終列車」「お富さん」「別れの一本杉」「長崎の女」「どしゃぶり人生」。
ほかに、視聴者のリクエストによるヒット曲の数々が登場。

昭和49年6月12日

- ①「艶姿、偲ぶお江戸の華の宴！」 # 9
- ②朝丘雪路、藤本二三代、五月みどり、森進一、布施明、いしだあゆみ、ぴんから兄弟、森昌子
- ③「縁かいな」(不明)、「明治一代女」(不明)、「ゲイシャワルツ」(不明)
- ④ 朝丘雪路、藤本二三代、五月みどりをゲストに迎え、あでやかな踊りに歌、そして三味線を披露してもらう。
曲は、「縁かいな」「明治一代女」「ゲイシャワルツ」など。
出演はほかに、森進一、ぴんから兄弟、いしだあゆみら。

昭和49年6月19日

- ①「日本の情緒 3000 曲！！佐伯孝夫」 # 10
- ②佐伯孝夫、松尾和子、和田弘とマヒナスターズ、森進一、和田アキ子
- ③不明
- ④不明

昭和49年6月26日

- ①「菲菲・アグネス母国語で唄うにつぼんの歌」 # 11
- ②欧陽菲菲、アグネス・チャン、中条きよし、山口百恵、水前寺清子、都はるみ、内山田洋とクール・ファイブ
- ③「情熱の砂漠」(欧陽)、「港町ブルース」(アグネス)、「スイート・ドリーム」(アグネス)、「四つのお願い」(欧陽・アグネス)。
- ④ 欧陽菲菲とアグネス・チャンをゲストに迎え、香港や台湾でヒットしている日本の歌を、中国語や英語で歌ってもらう。
菲菲が、台湾でペスト・ワンにランクされているというザ・ピーナッツの「情熱の砂漠」を、アグネスが森進一の「港町ブルース」と、「スイート・ドリーム」のタイトルで人気の由紀さおりの「生きがい」を歌う。さらに二人でちあきなおみの「四ヶ願望」(四つのお願い)を歌う。

昭和49年7月3日

- ①「幸せ！！橋幸夫・妻と子を語る」 # 12
- ②橋幸夫、五木ひろし、今陽子、伊東ゆかり、あいざき進也、玉置宏
- ③不明
- ④ 「潮来笠」でデビューして以来十五年の橋幸夫をゲストに迎え、結婚三年目の彼の落ちついた家庭生活をフィルムで紹介しながら、元スチュワーデスの凡子夫人とのなれそめから現在まで、それに一歳になる愛児についても語らせる。きき手は玉置宏。
出演はほかに、五木ひろし、今陽子、伊東ゆかりら。

昭和49年7月10日

- ①「両手に花・永遠のヤング!ディック・ミネ」 #13
- ②ディック・ミネ、五木ひろし、藤圭子、夏木マリ、伊東ゆかり、ガロ
- ③不明
- ④不明

昭和49年7月17日

- ①「絶唱!!甦える東海林太郎/”長崎の鐘”涙の秘話」 #14
- ②東海林太郎 (VTR)、高峰秀子、コロムビア・トップ、藤山一郎
- ③「野崎小唄」(東海林 (VTR))、「赤城の子守唄」(東海林 (VTR))
- ④ 東海林太郎が亡くなってからすでに二年近くたったが、彼の歌声は今でも日本人の心の奥底に生き続けている。”圭三ベストスペシャル”は、元気だったころの彼の姿をVTRで再現し、数多いヒット曲をききながら、彼のエピソードを話し合う。
曲は、「野崎小唄」「赤城の子守唄」ほか。
また、高峰秀子、藤山一郎、コロムビア・トップらが生前の彼のエピソードを披露する。

昭和49年7月24日

- ①「再現!!44年レコード大賞受賞の感激」 #15
- ②由紀さおり、八代亜紀、欧陽菲菲、鶴岡雅義と東京ロマンチカ
- ③不明
- ④ ”圭三ベスト・スペシャル”は「再現!44年レコード大賞受賞の感激」。昭和44年のレコード大賞受賞シーンを再現し、エピソードを綴る。
昭和44年は数多くのヒット曲と大型新人を生み出して歌謡界が最も活況を見せた年。「いいじゃないの幸せならば」で佐良直美がレコード大賞を受賞した。

昭和49年7月31日

- ①「鶴田浩二軍歌を謳う」 #16
- ②鶴田浩二、五月みどり、中条きよし、八代亜紀、安西マリア
- ③「ラバウル小唄」(鶴田・坂上)、「戦友よ安らかに」(鶴田・坂上)、「同期の桜」(鶴田・坂上)、「ダンチョネ節」(鶴田・坂上)
- ④ 今秋公開予定の映画「あゝ決戦航空隊」に大西中将役で出演のため坊主頭になった鶴田浩二が、大コーラスをバックに坂上二郎とかけあいで軍歌を歌いまくる。曲は、「ラバウル小唄」「戦友よ安らかに」「同期の桜」「ダンチョネ節」ほか。
歌の合間には、米国防総省撮影の太平洋戦争実写フィルムを挿入。また雑誌にヌード写真を発表した五月みどりにインタビュー、その写真を披露する。

昭和49年8月7日

- ①「初公開！美人スター水着アルバム」 #17
- ②チェリッシュ、風吹ジュン、いしだあゆみ、クール・ファイブ
- ③不明
- ④不明

昭和49年8月14日

- ①「永遠の美女！高峰三枝子大いに歌う」 #18
- ②高峰三枝子、鶴田浩二、青江三奈、研ナオコ、中条きよし
- ③不明
- ④ 日本で初めてレコーディングした女優・高峰三枝子が” 圭三ベストスペシャル” のゲスト。当時の思い出を語り、美声を聴かせる。

昭和49年8月21日

- ①「人気スター歌うリクエスト30曲」 #19
- ②五木ひろし、森進一、ぴんから兄弟、天地真理、山口百恵、藤圭子
- ③不明
- ④不明

昭和49年8月28日

- ①「三条正人・さようならロマンチカ」 #20
- ②鶴岡雅義と東京ロマンチカ、和田アキ子、高峰秀子、奥村チヨ
- ③不明
- ④不明

昭和49年9月4日

- ①「第二弾！ひばり 1000万人のリクエスト」 #21
- ②美空ひばり、ちあきなおみ、山口百恵、八代亜紀
- ③「リンゴ追分」(美空)、「裏町セレナーデ」(美空)、「悲しい酒」(美空)、「私は街の子」(美空)、「ひばりの佐渡情話」(美空)
- ④ ゲストは美空ひばり。”一千万人のリクエスト”というが、実際に視聴者からスタジオにかかってくる電話を受けてじかに対話、リクエストを受けてなじみ深い曲を披露する。
また、有名人愛唱歌ベストテンは、美空のベストテンを紹介する。曲は「リンゴ追分」「裏町セレナーデ」「悲しい酒」「私は街の子」「ひばりの佐渡情話」ほか。

昭和49年9月11日

- ①「菅原文太・男の流浪歌！！」 #22
- ②菅原文太、五木ひろし、フォーリーブス、バーブ佐竹
- ③「夜霧のブルース」(菅原)、「男の裏町」(菅原)
- ④ ゲストの菅原文太が、アウトローの男の心情を歌った「夜霧のブルース」「男の裏町」などを披露する。

ほかに、近く公開予定の映画「あゝ決戦航空隊」の一部を紹介、撮影中のエピソードを語る。

昭和49年9月18日

- ①「オールスター部門別第1位大会・第1部」 #23
- ②島倉千代子、五木ひろし、いしだあゆみ、布施明、淡谷のり子
- ③不明
- ④不明

昭和49年9月25日

- ①「オールスター部門別第1位大会第2部」 #24
- ②森進一、五木ひろし、山口百恵、ディック・ミネ、島倉千代子、ぴんから兄弟、小柳ルミ子
- ③「赤城の子守唄」(五木)、「大利根月夜」(ぴんから)、「高校三年生」(小柳)
- ④ 最終回。総決算というのでベスト二十五曲を、股旅もの、青春もの、酒の歌など四部門に分けて歌う。

股旅ものでは五木ひろしが「赤城の子守唄」、ぴんから兄弟が「大利根月夜」、青春ものでは小柳ルミ子が「高校三年生」など。